



Brand Protection Report

ブランドプロテクションレポート 日本語版

このAmazonブランドプロテクションレポートの日本語版は、2022年6月8日に公開されたグローバルでの活動をまとめた英語版を翻訳したものです。



2022年6月発行

はじめに

Amazon は地球上で最もお客様を大切にすることを目指しています。その実現のために重視しているのは、お客様の信頼を獲得し、それを維持することであり、Amazon は信頼できるショッピング体験の創出に日々、力を注いでいます。現在、Amazon は数百万社の販売事業者様（大半は中小企業）とともに、世界中の数億人ものお客様にサービスを提供しています。Amazon ストアを利用されるお客様は、Amazon が販売する商品も、販売事業者様が販売する商品も、すべて正規品であることを強く求めています。

Amazon では 2021 年、お客様、ブランドオーナー様、販売事業者様、そして Amazon ストアを、模倣品や詐欺、その他の不正から保護するために 9 億ドル以上を投資し、機械学習のサイエンティストやソフトウェア開発者、専門調査員など 12,000 人以上がこの活動に取り組みました。Amazon ストアでお客様が安心してショッピングを続けられるよう、Amazon のチームがブランドオーナー様や法執行機関、その他の組織などと協力しながら、非常に優れた取り組みを進めてきたことを、私は誇りに思います。

今回で 2 回目となる Amazon ブランドプロテクションレポートでは、さまざまな取り組みの進展について詳しく紹介しています。Amazon は、昨年のレポートで述べたように、3 つの戦略—すなわち、Amazon ストアを保護する強力で効果的かつ積極的な対策や、ブランドオーナー様と協力してブランドをさらに保護していくための業界屈指のツール、そして悪質業者の責任追及—に今年も引き続き注力します。いくつか要点を紹介します。

1. Amazon では、販売事業者様や商品を精査するための強固な体制を構築しており、さらに悪質業者の責任を追及することで、Amazon ストアへの不正な侵入を阻止しています。2021 年に阻止した悪質業者による新規出品アカウントの開設数は 250 万以上で、それらの悪質業者による出品を一切、許しませんでした。なお、悪質業者による新規出品アカウントの開設数は前年の 600 万以上から減少しました。
2. Amazon の自動化されたブランド保護ツールの活用は拡大を続け、その有効性が向上していることで、ブランドオーナー様が発見し Amazon に申告する違反報告件数はさらに減少を続けています。2021 年には、Amazon ブランド登録に登録されたブランド数は 70 万を超え、前年比 40% 増となりました。同時に、Amazon ブランド登録に登録されているブランドオーナー様からの有効な権利侵害の報告件数の平均は、前年から 25% 減少しています。
3. Amazon は引き続き、模倣品業者の責任を追及し、Amazon ストアや業界全体の小売業者に対する不正行為を阻止する取り組みに力を注いでいきます。
 - Amazon の Counterfeit Crimes Unit（模倣品犯罪対策チーム）が米国、英国、EU、中国で提訴、告発した犯罪件数は 600 件以上に上り、前年から 300% 増となりました。
 - Amazon は 300 万点以上の模倣品を突き止め、差し押さえ、適切に処理し、お客様の被害と小売サプライチェーンでの再販を阻止しました。これには、Amazon のフルフィルメントネットワークに模倣品を発送しようとする試みを阻み、ブランドオーナー様と捜査機関と協力して模倣品業者の倉庫や拠点を発見し、閉鎖させるといった取り組みが含まれます。
 - Amazon ストアを保護してきた取り組みで得た学びや進展を活かし、Amazon は模倣品業者を阻止するための官民連携の計画を発表しました。これには、小売業界で模倣品業者を阻止するための民間部門での情報交換の重要性や、国境保護のための税関との連携、模倣品業者の起訴に向けた法執行機関への資料提供の強化の必要性などが含まれます。初期段階ながら、この計画をきっかけに他者との建設的な対話が各所ですでに始まっています。Amazon も試験的にさまざまなデータ共有を進めており、議会承認に結びつつある事例も出てきたことを嬉しく思います。

今年は、4つ目の注力分野として「お客様の啓発と支援」を掲げています。正規品だけを購入すべき理由についてお客様に啓発するためのいくつかの新たな取り組みを開始しました。また、事前・事後対策への投資も継続します。問題が発生した場合にも、お客様に安心してご利用いただけるよう、万全の体制を整えています。

1995年の創業以来、Amazonは「信頼」を基盤に、すべての業務を行ってきました。それから27年近く経った今、Amazonは、お客様、ブランドオーナー様、販売事業者様、そしてAmazonストアを守るために、保護対策をさらに強化しています。Amazonは、これまでの成果を誇りに思いながらも、Amazonストアの模倣品がゼロになるまで、その歩みを止めることなく、投資と革新を継続していきます。また、模倣品との戦いにおいて、業界全体で連携や協力が拡大していることを嬉しく思います。悪質業者の責任を追及し、業界全体から模倣品を排除するために、ともに私たちは何ができるかを考えてまいります。

Amazonの2021年の「ブランドプロテクションレポート」をぜひ、ご一読ください。



ダーメッシュ・メータ (Dharmesh Mehta)

Amazon バイスプレジデント

ワールドワイド・セリング・パートナー・サービス統括責任者

目次

はじめに	02
セクション1：堅牢で積極的な防止策	06
セクション2：ブランドを保護する強力なツール	08
セクション3：悪質業者に対する法的責任の追及	12
セクション4：お客様の啓発と支援	15

Amazonのブランド保護の取り組み

今年の報告書も昨年と同様に、まずAmazonの継続的な目標をご紹介します。Amazonでは「地球上で最もお客様を大切にする企業になること」をミッションに掲げ、可能な限りの正規品の豊富な品揃えの中から、お客様に欲しいものを見つけていただけることを目指しています。お客様の信頼を獲得、維持し、模倣品の販売を徹底的に阻止するべく取り組んでいます。模倣品を突き止め、お客様のもとに届くことのないよう、常に革新を続けています。

Amazonはブランド保護戦略として引き続き、積極的な防止策、ブランドオーナー様向けの強力なツール、悪質業者の責任追及の3つの柱に注力します。そして今年新たな柱として、「お客様の啓発と支援」を追加しました。2021年ブランドプロテクションレポートでは、Amazonの取り組みの進展や最新のイノベーションについてご報告します。



セクション 1： 堅牢で積極的な防止策

Amazon で商品を販売することは、起業を志す人々にとって世界を広げるチャンスとなります。Amazon では、起業家が出品アカウントを容易に開設できる一方で、悪質な業者がそれを行うのは非常に困難な仕組みを確立しています。

Amazon では、高度な技術と専門家による審査とを組み合わせ、販売を希望する事業者の皆様の身元を確認する業界最先端のツールを構築しています。Amazon の販売事業者様になることを希望する事業者の皆様は登録の際に、公的機関が発行した写真付きの身分証明書や、身元確認のための情報や所在地、納税者情報、銀行口座、クレジットカードなどさまざまな情報の提出が求められます。Amazon は独自のシステムで数百のデータポイントを分析して情報の検証を行い、潜在的リスクを洗い出しています。

販売事業者様の検証

2021 年は、悪質業者が販売事業者としてアカウント登録することがさらに困難になりました。これを実現する Amazon のアカウント検証プロセスの中心となるのは、登録を希望する販売事業者の皆様と Amazon 担当者との個別の対話を場により実施し、その身元と書類を確認する対話認証プログラムです。このプロセスは、販売事業者様の物理的な所在地や支払い方法を確認することでさらに強化されます。また、機械学習モデルを活用し、アカウント登録を希望する事業者の皆様に関する数百ものデータポイントを使って、前科のある悪質業者との関わりなどのリスクを検出します。

2021年の進捗:



対話での認証をさらに拡大し、年末までには、新規登録事業者様が米国 (Amazon.com)、英国、カナダ、EU加盟国、日本、その他いくつかの国で商品を販売する場合、原則としてこの認証を受けなければならないようにしました。



Amazon が事前に阻止した悪質業者による新規出品アカウントの開設数は250万以上で、それらの悪質業者による出品を一切、許しませんでした。なお、悪質業者による新規出品アカウントの開設数は前年の600万以上から減少しました。Amazon の強力な販売事業者様の精査体制と悪質業者の責任追及により、悪質業者の Amazon ストアへの侵入を阻止しています。

継続的なモニタリング

Amazon は、権利侵害の可能性がないか、常に Amazon ストアを監視しています。商品は Amazon ストアに出品された瞬間から、模倣品、詐欺、不正がないかを、また将来、その商品に変更が加えられた場合も含め、Amazon の高度な技術で継続的に注意深くスキャンしています。さらに調査が必要な問題については、掲載を停止し、Amazon の専門調査員による綿密な審査を実施します。問題が判明した場合には、問題のコンテンツや掲載商品の削除、アカウントの停止、売上金の留保、悪質業者の告発などの措置を講じ、お客様やブランドオーナー様を速やかに保護します。

- Amazon の自動化技術は、商品詳細ページで不審な変更が行われていないか、1 日あたり 80 億件以上スキャンし、不正利用の兆候を探っています（2020 年の 50 億件以上から拡大）。
- Amazon は、Amazon ストアへの悪質な出品を 40 億件以上、事前に阻止しました。これらの出品は、詐欺、権利侵害、模倣品、その他の不正のリスクがある、もしくは商品の品質に重大な問題があることを疑われるものでした。

米国特許商標庁との情報交換により悪質業者を阻止

Amazon は、米国特許商標庁（USPTO）の商標関連の詐欺や不正防止の取り組みに協力しています。質の高い商標登録出願は、考案者や発明者の速やかな登録につながり、事業規模の大小問わず、最終的にはすべての企業に利益をもたらします。

2021 年、Amazon は USPTO との連絡・協力体制を強化しました。現在、登録状況や USPTO の制裁措置を受けた者（結託する弁護士・弁理士を含む）について USPTO から直接情報を得ており、不正な商標の出願や登録が Amazon ブランド登録への登録に使用されないようにしています。さらに、Amazon はこの情報を、Amazon ストアにおける不正な兆候を明らかにするためにも活用しています。同様に、Amazon ストアにおける不正な行為や傾向についての情報を USPTO に提供し、出願者や登録者の不正の調査に協力しています。

USPTO にとっては情報の質を向上させ、Amazon にとっては Amazon ブランド登録の精度を高めることのできる、双方にメリットのある協力体制を構築しています。2021 年はさらに議論を深め、Amazon ブランド登録への登録における不正な USPTO 商標の使用を 2,000 件阻止することができました。今後も USPTO に協力し、世界中の他の登録機関にも同様の取り組みを拡大していきたいと考えています。

「PhilipsとAmazonは、不正な販売行為の解析を深めることにより、AmazonにおけるPHILIPSブランドのインテグリティを強化し、両社で法的措置に向けた機会をより多く創出することに、引き続き協力して取り組んでいきます」

PHILIPS

セクション 2： ブランドを保護する強力なツール

Amazon ブランド登録

2017年にAmazonは、ブランドオーナー様（Amazonストアでの販売の有無は問わない）向けの無償サービス「Amazonブランド登録」の提供を開始しました。これはAmazon上でブランドや知的財産権を管理、保護するものです。「Report a Violation」は、ブランドオーナー様が権利侵害をチェック、検出、報告し、その後の出品を専用のダッシュボードで追跡できるツールです。また、このAmazonブランド登録では機械学習やブランド登録に登録されたデータを活用した自動保護機能により、さらに効果的なブランド保護が可能となります。Amazon独自の自動保護機能でAmazonストアを常にスキャンし、権利侵害の可能性のある商品を検出します。

- Amazonブランド登録への登録ブランド数は70万を超え、2020年の50万以上から40%増となりました。
- Amazonは自動保護機能を継続的に強化しており、Amazonストアにおける不正な商品は減少しています。Amazonブランド登録に登録されたブランドオーナー様から報告された根拠の確実な権利侵害件数の平均は、2020年から25%減少しました。

「国際的なEコマース（EC）サイトの代表格として、Amazonはブランドオーナーの声や要望を非常に大切にしています。掲載削除のリクエストができるAmazonブランド登録のほか、商品のシリアル化サービスのTransparency（トランスペアレンシー）、ブランドオーナーがブランド保護のための措置を講じることのできるProject Zero（プロジェクト・ゼロ）などが提供されています。こうした取り組みにより、ブランド保護や模倣品の防止が格段に楽になり、他のEC事業者の良いモデルとなっています。世界中のお客様のために、引き続きAmazonとより信頼性の高いEコマース環境を構築し、緊密な協力関係を築いていきたいと考えています」

「ブランドを権利侵害から守るためには、常時監視と継続的なイノベーションが必要です。Amazonブランド登録を通じてブランドオーナー様から提供される貴重な情報により、不正な商品が世界中のAmazonストアに掲載されるのを未然に防ぐことが可能となります。ブランドオーナー様やお客様を保護するというAmazonの使命に大きな誇りを持っています」



Amazonブランド登録担当ディレクター
Raj Kizhakkekalathil

amazon brand registry

IP アクセラレーター

Amazon の「IP アクセラレーター」プログラムは、知的財産権の登録を迅速化し、Amazon だけでなくあらゆる場所のすべてのストアで知的財産を保護できるツールです。また商標出願中であっても Amazon ブランド登録にご登録いただくことで、ブランドを保護するための Amazon のツールの一部を活用し、メリットを得ることができます。IP アクセラレーターでは、質の高い商標登録サービスを競争力の高い価格で提供する、Amazon が厳選した信頼できる知的財産専門の法律事務所を紹介しています。

- IP アクセラレーターを通して、5,900 社以上の中小企業に対して、信頼できる法律事務所を紹介しました。2019 年のプログラム開始以来、12,000 ものブランドオーナー様が IP アクセラレーターを通じて Amazon ブランド登録に登録されています。
- Amazon は、米国、ヨーロッパ、インド、日本、英国で利用可能な IP アクセラレーターを、さらにオーストラリア、ブラジル、カナダ、メキシコ、シンガポールの 5 カ国で立ち上げました。
- IP アクセラレーターが紹介する法律事務所も拡大し、英語、フランス語、ドイツ語、日本語、韓国語、中国語、スペイン語、ヒンディー語、グジャラート語、イタリア語、ポルトガル語の 11 言語で中小企業の皆様にサービスを提供しています。

「MAVEN IP（法律事務所）は、IP アクセラレータープログラムの豊富な実績を有しています。IP アクセラレータープログラムでは、連邦商標登録の出願中でも Amazon ブランド登録への登録を優先的に進めるため、事業者の間では商標権を取得する重要性や必要性が認知されつつあります。中小企業の経営者が商標権の取得に動き始めただけでなく、防護力を最高に高める特徴あるマークの作成にも関心を示すようになっていきます」

Maven IP
Janet Moreira氏

MAVEN ^{ip}
Protecting your creative capital®

「IP アクセラレーターは販売経験の有無に関わらず、ブランディングプロセスに必要なツールです。調査や出願を支援し、販売事業者様がアイデアを実現し、安心してブランドを構築できるようサポートできることを嬉しく思います」

Cowan, Liebowitz & Latman PC
Meichelle MacGregor氏

**COWAN
LIEBOWITZ
LATMAN**



Project Zero

「Project Zero (プロジェクト・ゼロ)」は、Amazonの高度な技術とブランドオーナー様が持つ知的財産権に関する知識や模倣品検出のノウハウを組み合わせ、模倣品の撲滅を目的とした取り組みです。これには、模倣品の疑いのある出品をブランドオーナー様が自らAmazonストアから削除できるという従来にはない機能など、Amazonの強力なブランド保護ツールを活用しています。

- Project Zeroは新たに2,000ブランドに登録され、登録ブランド数は2万を超えました。
- Project Zeroに登録しているブランドオーナー様が掲載商品を1つ削除するごとに、Amazonの自動保護機能により、権利侵害の疑いのある1,000以上の商品が削除されました。

「Project ZeroはAmazonの素晴らしい取り組みです。このツールはブランドオーナーの不安を取り除くもので、シームレスに機能します。我々は、Amazonが積極的なブランド保護プログラムを開始されたことに感謝しています。当社のブランドもお客様も保護されているという安心感があります」

Transparency

Transparency (トランスペアレンシー)は、商品にシリアル番号を付与することで、模倣品が世界中のお客様の手元に届かないようにするためのソリューションです。ブランドオーナー様は、固有のコードが付いたラベルを商品1点1点に貼付し、Amazonはこのコードをスキャンすることで、商品がお客様に配送される前に正規品であることを確認できます。どの小売店もコードを確認することができるほか、Transparencyに登録された商品については、Amazonが100%、正規品であることを確認しています。有効なコードのない商品を識別し、出荷を停止するため、お客様には正規品のみが配送されることになります。

- Transparencyは世界で23,000を超えるブランドに登録されており、その数は2020年から35%増加しました。
- Transparencyでは、2020年比で50%増となる7億5,000万点以上の商品を保護しました。

2021年にはTransparencyの追跡サービスを開始し、ブランドオーナー様は各社の流通チャネルで商品を追跡し、強化された返品分析機能を利用できるようになりました。このサービスにより、工場や生産ロットレベルで商品の不具合の傾向を可視化し、根本原因に対処することが可能となります。

「Transparencyにより安心感が得られます。販売するすべての商品にそれぞれ固有のコードが割り当てられるため、不正を行う者が私たちの努力を利用して利益を得ることのないようにできます」

「Transparencyにより安心感が得られ、単にブランドを保護することからブランドを成長させることに焦点を切り替えられるようになりました」



Transparencyのブランド事例については以下のケーススタディをご覧ください。

➤ [Koala BabyCareの事例](#)

➤ [Mindbeastの事例](#)

Amazon Patent Evaluation Express

Amazon は 2018 年に「Amazon Patent Evaluation Express (APEX)」の試験運用を開始しました。実用特許権者により効果的な特許権侵害紛争の解決の場を提供することで、当事者双方の費用負担を大幅に削減します。APEX は 2021 年に Amazon ブランド登録の Report a Violation ツールの機能として正式にリリースされ、ブランドオーナー様は実用特許権紛争の評価をこのツールからリクエストし、判断プロセスを追跡することができるようになりました。

多くの実用特許権は技術的に複雑であることから、視覚的な手がかりだけでは商品が権利侵害にあたるかどうかを見定めるのは困難な場合もあり、判断には技術と特許法の両方に関する専門知識が必要となります。このため、APEX プロセスでは、第三者の中立的な評価の専門家を採用し、商品が権利侵害にあたるかどうかを判断します。この評価を担当する弁護士は Amazon と関係はなく、また Amazon は権利侵害の有無の判断には関与しません。

- APEX では判断までに要する時間は平均 7 週間となっており、米国における平均的な特許権侵害訴訟の審理までの期間である 2 年と比較してはるかに早いです。

APEX の利用は、勝訴当事者は無料です。各当事者は評価者にそれぞれ 4,000 ドルを保証金として支払います。プロセスの最後に、勝訴当事者には評価者から保証金 4,000 ドルが返金されます。他方当事者の保証金 4,000 ドルが評価者への報酬として支払われます。特許権侵害訴訟は通常、数十万ドルから数百万ドルの費用がかかり、数年間続くこともあります。APEX は、特許請求を争うための低コストでスピーディーな選択肢です。

「知的財産を法的に守る手段として裁判がありますが、特許権侵害訴訟は中小企業にとっては開発などのイノベーションに手が回らなくなり、莫大な訴訟費用がかかるなど、重い負担となる場合もあります。Amazon Patent Evaluation Express (APEX) を活用すれば、そのような事態を回避できます。プロセスはシンプルかつ低コストで、着地点が明確であり、特許権のエンフォースメントを効果的に行うことができます。APEX は中小企業にとって非常に画期的なソリューションです」

Lay-n-Go COO 兼共同創業者
Adam Fazackerley 氏

LAY/N/GO.



セクション 3： 悪質業者に対する法的責任の追及

Amazon 模倣品犯罪対策チーム

提訴の取り組みや世界中の捜査機関との協力体制を強化するため、Amazon は 2020 年に Amazon Counterfeit Crimes Unit (CCU、模倣品犯罪対策チーム) を設置しました。Amazon の模倣品犯罪対策チームは、元連邦検察官や FBI エージェント、豊富な経験を持つ捜査官やデータアナリストで構成されています。Amazon の模倣品犯罪対策チーム、税関当局、捜査当局が情報を共有し、模倣品業者を突き止め、悪質業者のアカウントを閉鎖し、模倣品を差し押さえ、関係者を起訴します。模倣品犯罪対策チームは、民事訴訟のほか世界中の捜査当局と連携した執行措置や差し押さえにより、模倣品業者やそのネットワーク、サプライヤーや物流業者、SNS インフルエンサー、架空請求業者などを撃退してきました。

- Amazon は米国で 170 以上の模倣品業者に対し、民事訴訟を提起しました。
- Amazon が米国、英国、EU、中国で提訴または告発した犯罪件数は 600 件以上に上り、2020 年から 300% 以上増加しました。
- Amazon は Yeti、GoPro、Hanesbrands、Valentino、Weber、Salvatore Ferragamo、Whirlpool、Procter & Gamble といったブランドと連携して世界中の模倣品業者を追及しています。
- 2021 年 10 月には Amazon の模倣品犯罪対策チームの情報提供により、米国国土安全保障捜査局 (HSI) とロサンゼルス郡保安局 (LASD) との共同で捜査が行われ、120 万ドルを超える自動車製品の模倣品を押収しました。このような部品は車載安全センサーの障害となり、消費者を危険に晒す可能性があります。出荷を阻止したことで、Amazon のお客様だけでなく、模倣品業者が商品の販売を企んでいた他店のお客様も保護しました。
- 中国の浙江省義烏市の市場監督管理総局 (MSA) は、Amazon と Salvatore Ferragamo からの情報をもとに、模倣品業者の倉庫に強制捜査に入り、ベルトとバックルアクセサリーの模倣品を押収しました。この押収により、模倣品が世界中の販売チャンネルに流通するのを未然に防ぎました。

「Amazon と協力し、オンラインで模倣品と戦ってきたこと、そしてオフラインでも先行した取り組みを行っていることを誇りに思います。当社の事例に倣い、他社でも同様の取り組みが進んでいることは喜ばしいことで、オフラインでの活動が強化され悪質業者の強力な抑止力となっています」

「Amazon の模倣品犯罪対策チームは、模倣品業者に対する積極的な法的措置を通して、ブランドオーナー様や捜査当局のグローバルパートナーとしての評価をこの 2 年で確立してきました。Amazon の使命は、違法な利益に対する追及、刑事訴追、民事訴訟の判決や差止命令により犯罪者グループを阻止、排除し、お客様には安全な正規品のみが届くようにし、悪質業者に法的責任を追わせることです」


VALENTINO
GARAVANI



Amazon 模倣品
犯罪対策チーム
ディレクター兼
アソシエイト
ゼネラルカウンシル
Kebharu Smith

模倣品業者を阻止するための官民連携の計画

模倣品の販売やその企ては犯罪であり、Amazon はこれを根本から阻止したいと考えています。そのためには、この領域の多くのパートナーと広く連携していく必要があります。官民部門、小売業界、行政が協力して模倣品業者を阻止し、消費者、ブランドオーナー、店舗事業者の皆様をこのような犯罪者から保護しなければなりません。

これを実現するため、Amazon は 2021 年 10 月に模倣品の阻止に向けた官民連携の計画をまとめました。Amazon の提言はこの計画の[白書](#)に掲載されており、その中で Amazon は、協力体制の強化に向けた次の 3 つの主な機会に言及しています。

- 模倣品に関する動きについて情報を交換し、模倣品を水際で取り締まる
- ブロックした模倣品業者の情報を共有し、業界内でより多くの模倣品業者を早期に阻止できるようにする
- 模倣品業者の起訴に向け、捜査当局への情報提供を強化する

この計画がきっかけとなり、Amazon と政策決定者の間で、業界と政府の連携について、特に模倣品の犯罪者グループや模倣品輸入の謀略に関する情報共有について、意見交換が開始されました。

また試験的に、他のマーケットプレイス事業者様との情報共有を実施したことで、Amazon ストアでも模倣品を販売しようとした業者のアカウントを発見することができました。確認された模倣品業者に関する情報をリアルタイムに共有できる拡張性に優れたソリューションの構築は、民間企業が先導していく必要があります。今後、より多くの企業様にこのようなパートナーシップの構築に協力していただければと考えています。

「Criminal Analysis Service (犯罪解析サービス) では、県の参画や地方警察、国家警察の大きな力を得ながら、当局間が連携して模倣品や違法コピーの取り締まりを推進しています。オンライン市場の進化に伴う新たな課題に、さまざまな領域の官民の関係者と協力することで対処しています。中でも Amazon との連携は際立っており、斬新な戦略の策定に向け、事象をよりよく把握していくための重要なパートナーであることが証明されています」

イタリア内務省 公安部門
刑事警察中央総局

模倣品業者をサプライチェーンから締め出す

模倣品との戦いは、販売チャネル全体における世界的な課題です。Amazon は模倣品が特定された場合、サプライチェーンのどこであっても再販されることのないよう、適切に処理されることを望んでいます。これは Amazon ストアの内外で確実に正規品が提供されるだけでなく、模倣品業者が模倣品による利益をどこからであっても得ることができないようにするための重要な抑止力として機能します。

Amazon は 2021 年、300 万点以上の模倣品を突き止め、差し押さえ、適切に処理し、お客様の被害と小売サプライチェーンでの再販を阻止しました。これには、Amazon のフルフィルメントネットワークを使って模倣品を発送しようとする試みを阻み、ブランドオーナー様や捜査機関と協力して模倣品業者の倉庫や拠点を発見し、閉鎖させるといった取り組みが含まれます。

ベストプラクティスを共有し、ともに継続的に改善する

Amazon は主要な業界団体や非営利団体と協力し、プログラムの継続的な改善を図っているほか、ベストプラクティスの共有を通して他社様の成功を支援しています。また、トレンドを把握し、新機能の試験的な導入を通して、最終的にはお客様やブランドオーナー様の保護の強化を図ります。このようなパートナーシップの一部をご紹介します。

「Amazon では、ブランドプロテクション部門や模倣品犯罪対策チームの活動により、優れた知的財産保護体制を継続的に構築しています。検討の場においては、フィードバックに耳を傾け、ブランドオーナーにとって意味のある改善を推進しています。緊密に協業する中で、Amazon が規約違反に対処するためのツールを常に強化し、ブランドを積極的に保護するためのプログラムに投資していることを目の当たりにしてきました」



「Confindustria Moda は、数年にわたり Amazon と堅固なパートナーシップを構築し、その関係は現在もさらに発展しています。Amazon は当団体の参加企業が知的財産権やブランドを防御できるようサポートする意向を力強く示してくれています。Amazon がブランド保護システムを継続的に導入し、オンライン上で模倣品と戦うファッション業界の企業をサポートし続けていることを高く評価しています」



「INDICAM と Amazon の関係は 4 年前に始まりました。私たちは当初、信頼を構築する必要がありましたが、共通の目標を共有したことで、具体的な改善とより良い結果を得ることができました。この連携の取り組みはさらに強化していく余地がありますが、正しい方向に進んでいる優れた取り組みです」



「ACG は模倣品の英国や国際市場への侵入を防ぐため、Amazon と継続的に協力しています。模倣品の侵入の脅威は、消費者、ビジネス、経済に対してますます高まっています。我々が協力することで、ACG と Amazon はより緊密で効果的な関係を構築しています。このパートナーシップを進展させ、模倣品業者の手口をより深く理解し、認識することで、オンラインシステムを悪用する犯罪者に効果的な対策を講じていきます」



セクション 4： お客様の啓発と支援

お客様保証

Amazon のブランド保護に向けた対策は強力ではありませんが、完璧ではありません。お客様が Amazon ストアで模倣品を購入されるケースも稀に存在します。Amazon は、数十年にわたり Amazon マーケットプレイス保証を提供してきました。Amazon または販売事業者様から購入したすべての商品について、模倣品であることが判明した場合、お客様は返金を受けることができます。お客様が Amazon または販売事業者様から模倣品を購入されたことが判明した場合、Amazon からお客様に連絡し、購入された商品が模倣品であることをお知らせし、100% 返金いたします。お客様による手続きは一切必要ありません。

「Amazon には権利侵害を防止するための優れた取り組みがありますが、最も優れていると思うのは、お客様に模倣品が届いてしまった場合にこちらからお知らせし、返金するプログラムです。このプログラムを構築したのは、お客様を保護するために取るべき正しい措置だからです。他のオンラインストアも Amazon の先例に続いてもらえればと願っています」



Amazon
シニアコーポレートカウンシル
Annasara Purcell



お客様の啓発

2021年の年末商戦に先立ち、Amazonは米国商工会議所のグローバル・イノベーション・ポリシー・センター（GIPC）および米国税関国境警備局（CBP）と協力し、安心してショッピングを楽しみ、模倣品を購入しないための消費者向け啓発活動を実施しました。このキャンペーンでは消費者を模倣品の危険から守るため、賢いショッピングに関する主な10のヒントを紹介しました。

[このキャンペーン](#)の中で、Amazon、CBP、GIPCは200以上の現地メディアのテレビ局から取材を受け、全米の消費者が視聴しました。またUSPTO（United States Patent and Trademark Office）は、米国政府による「STOPfakes（偽物をなくそう）」の取り組みの一環として開催された2回のウェビナーにおいて、Amazonの幹部を招き、ブランド保護のためのツールやプログラムについて説明しました。

「各企業の単独の取り組みでは、消費者を完全に保護できないことはますます明白になっています。取り組みにはパートナーが必要であり、特に官民の連携を通じた協力が重要です。政府と業界が一体となることで、模倣品業者をさらに取り締まることができます」

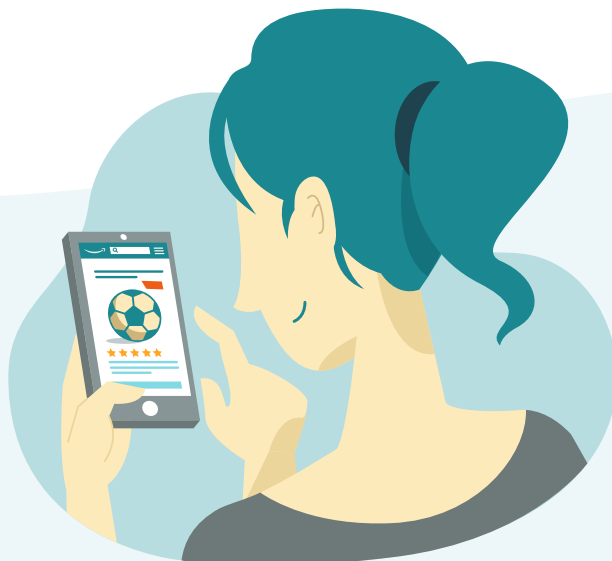
GIPC ブランド保護担当
バイスプレジデント Kasie Brill氏

若い消費者に対して模倣品について伝えることがますます重要になっています。2021年にAmazonは、国際商標協会（INTA）のUnreal Campaignと、ロサンゼルス大都市圏のガールスカウトと緊密に連携し、「Unreal Patch Program」という消費者の認知向上を目的としたプログラムを展開し、13歳から18歳のガールスカウト数千人に提供しました。

この連携プログラムでは、参加した若者達はブランドを構築し、商標を使って発明を保護する体験をします。そして、誰かが自分のアイデアを盗もうとしたとしたらどう思うかについて話してもらいました。ガールスカウトの参加者には、プログラムの終了後に限定ワッペンが贈られました。Unreal Patch Programは、正規の商品の価値や起業家精神、商標やブランドの重要性に対する理解を参加者に促しました。

「Amazonのサポートによる、INTAとロサンゼルス大都市圏のガールスカウト（GSGLA）のコラボレーションは、素晴らしい取り組みです」

INTA CEO
Etienne Sanz de Acedo氏



amazon

The Amazon logo is centered at the bottom of the image. It consists of the word "amazon" in a white, lowercase, sans-serif font. Below the text is a curved orange arrow that starts under the letter 'a' and points to the right, ending under the letter 'n'.